

埋設型水受けパン

E-MABK / E-MASL

施工・取扱説明書

保証書付

- この度は、埋設型水受けパンをお求めいただき、まことにありがとうございます。この施工・取扱説明書をよくお読みいただき施工、お使い下さい。
- 本製品は、屋外用水栓の水受けとなる埋設型のパンです。
- この施工・取扱説明書には、保証書が付いておりますので大切に保管して下さい。

施工・取扱説明書の記載内容および製品の仕様は、品質改良のため予告なしに変更する場合があります。

安全上のご注意

ここに示した警告および注意は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、内容をよく理解して正しく施工し、お使い下さい。

■安全表示について

危害、損害の程度を警告・注意に分けて表示しています。

⚠ 警告	人が死亡する、または重傷を負う恐れがあることを示します。
⚠ 注意	火傷やけがを負う恐れや物的損害が発生する恐れがあることを示します。

図記号の種類と意味

🚫	してはいけないこと。(行為の禁止)
⚠	注意すること。(注意の喚起)
🛑	必ず行うこと。(行為の強制・指示)

⚠ 注意

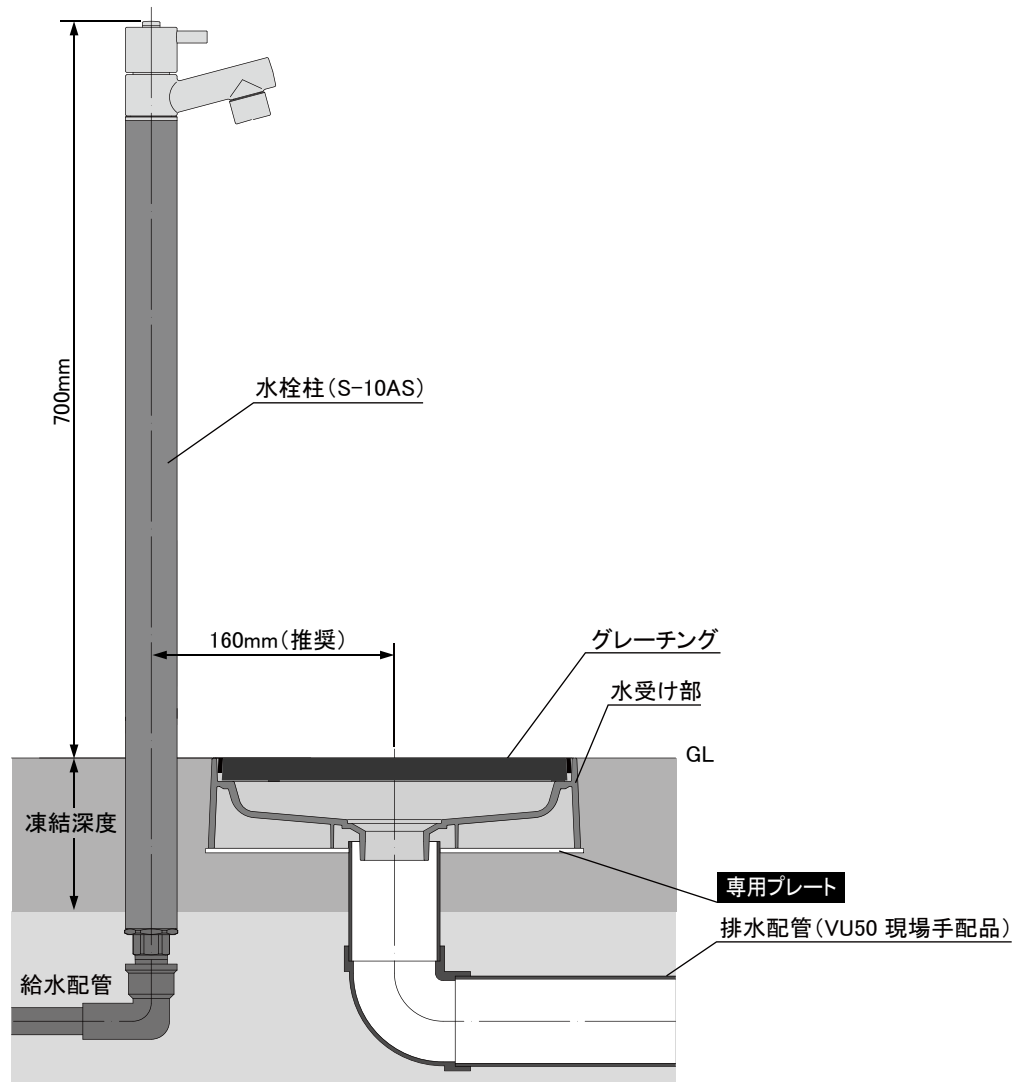
- 器具を車などが乗る場所へ施工しないで下さい。破損の原因になります。
 - 隙間に手や指を入れないで下さい。けがをする恐れがあります。
 - 器具に工具等固いものを落としたり、引きずったりしないで下さい。傷がつく恐れがあります。
 - 落下等による衝撃を与えないで下さい。破損の原因になります。
 - 器具外周をコンクリートで直接拘束しないで下さい。熱膨張・収縮により破損や拘束が弱くなる恐れがあります。
 - 火気や熱源を近づけないで下さい。劣化や変形により、破損の原因になります。
 - ベンジン・シンナー・トルエン等の有機溶剤入りの洗剤は使用しないで下さい。塗装が剥がれたり、印刷が消えたり、部品が溶ける恐れがあります。
- 作業時は保護具を使用して下さい。けがをする恐れがあります。
 - 設置の際は十分に転圧して下さい。器具が沈下する恐れがあります。
 - 地下埋設物(水栓柱の給水配管など)に影響の出ないよう取付環境をご確認の上、施工して下さい。
 - 排水配管の繋ぎ込み先は、自治体の指導等に従ってください。
 - 排水配管は管末に向かって下り勾配をつけて下さい。排水が逆流する恐れがあります。
 - 器具は水平な場所へ設置して下さい。器具ががたつく恐れがあります。
 - 毛染め剤・カラーリンス等はすぐに洗い流して下さい。器具の変形・変色・割れの原因になります。
 - 仕様の範囲内でお使い下さい。範囲外での使用は、器具の破損や性能劣化等の恐れがあります。

施工例と各部名称

■仕様

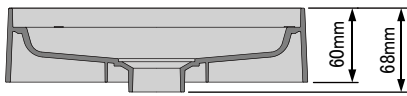
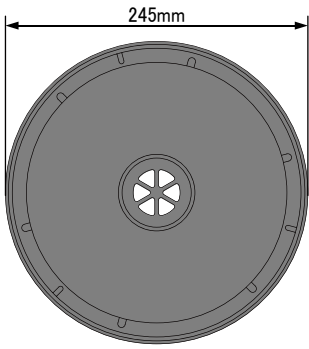
使用流体	水道水
使用温度	60℃以下
寸法	φ245×高68 (mm)

■ オプション

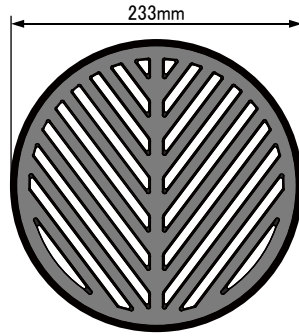


同梱品

施工前に以下の部品が揃っていることを確認してください。



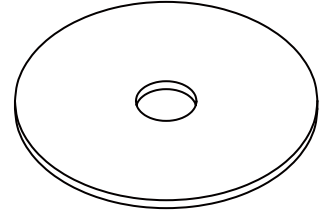
水受け部



グレーチング



Pフック



芯出しクッション

施工方法

製品の周りを土間コンクリートで施工する場合の例です。

土間コンクリートではなく化粧砂利や芝で仕上げる場合は、手順③を省いた施工方法で行って下さい。

※設置方法(繋ぎ込み先等)に関しては、自治体の指導等がある場合、その内容に従って下さい。

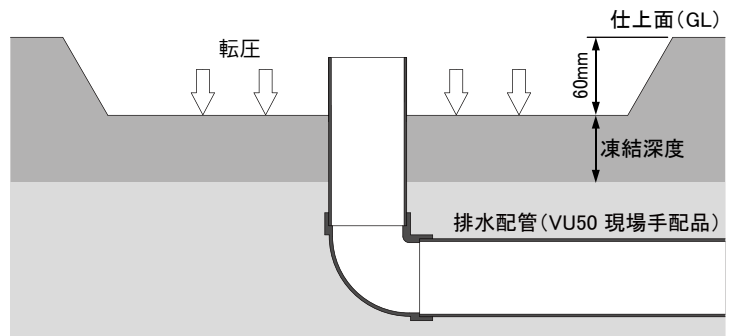
施工前に…

水栓柱と水受け部の位置関係を決めてから施工して下さい。

- ①排水配管(塩ビパイプVU50、現地手配品)にエルボ及び短管を接続し、凍結深度以下になるように埋設します。

水受け部より大きな穴を仕上面(GL)から深さ60mmに掘り、十分に転圧します。

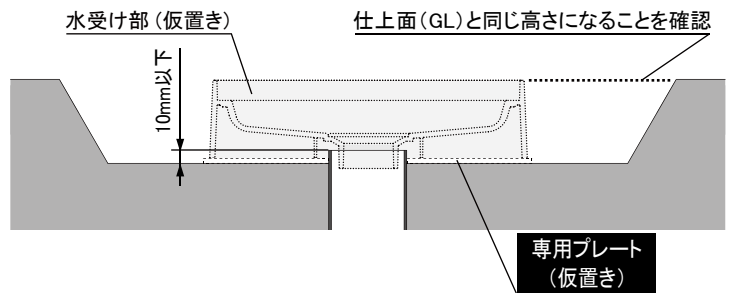
※軟弱地盤の場合はクラッシュランを50mm敷設して十分に転圧してください。



- ②排水配管は水受け部設置面から10mm以下になるように切断し、仮置きした水受け部が仕上面(GL)と同じ高さになることを確認して下さい。

水受け部を外し、排水配管に砂が入らないように養生テープ等でフタをして下さい。

※手順④の時に専用プレート(オプション品)を使用する場合は、水受け部と併せて仮置きして下さい。



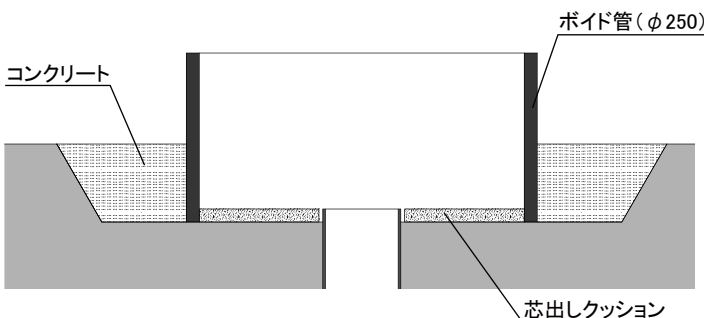
専用プレートを使用する場合

- ③水受け部の外側にコンクリートを施工します。

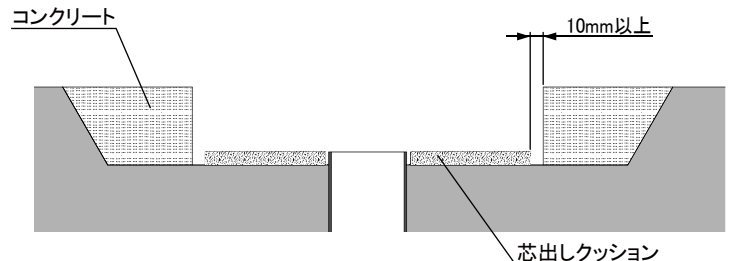
・ボイド管(φ250)を使用する場合は芯出しクッションを排水配管に差し込み、排水配管とボイド管の芯出しをして下さい。

・ボイド管を使用しない場合は芯出しクッションを目安に、芯出しクッションより10mm以上外側にコンクリートを施工して下さい。

⊘ 水受け部の外周をコンクリートで直接拘束しないで下さい
熱膨張・収縮により破損や拘束が弱くなる恐れがあります



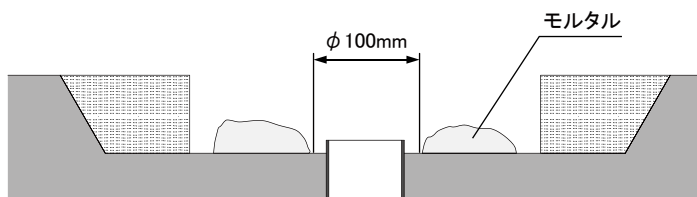
ボイド管を使用する場合



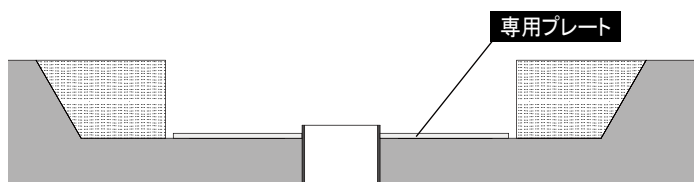
ボイド管を使用しない場合

- ④ボイド管と芯出しクッションを除去し、水受け部の裏面リブ部に満たされるようにモルタルを敷きます。
モルタルを使用しない場合は、専用プレート(オプション品)を使用して下さい。

⊘ 排水配管周辺(排水管中心からφ100mm程度)にモルタルを敷かないで下さい

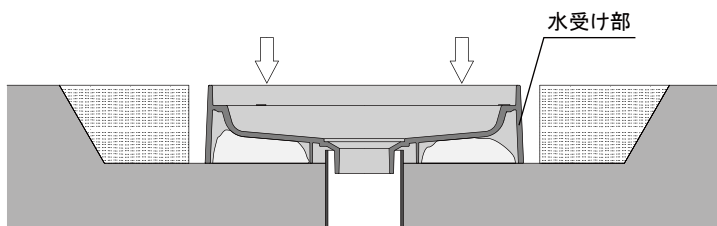


モルタルを使用する場合

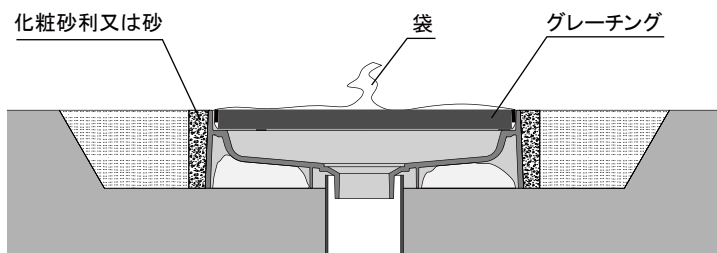


モルタルを使用しない場合

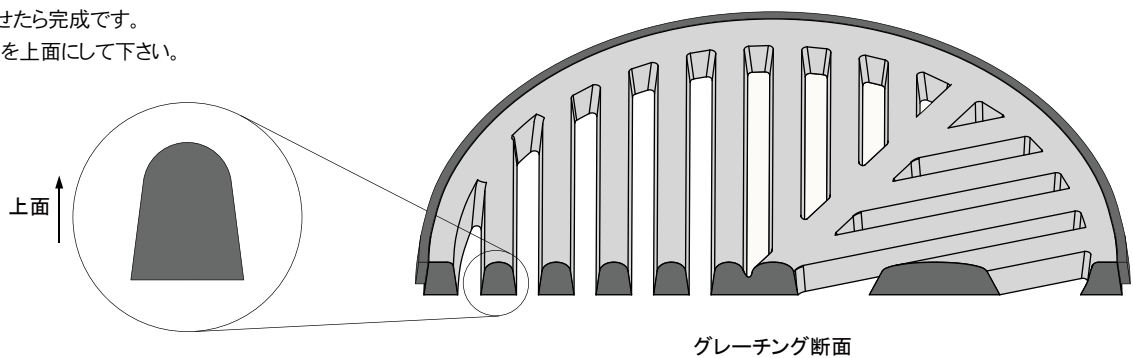
- ⑤排水配管の養生テープを剥がす、又はカッターナイフ等で十字に切れ目を入れてください。水受け部の排水口を排水配管に挿入し、上から押さえ込み安定させて下さい。



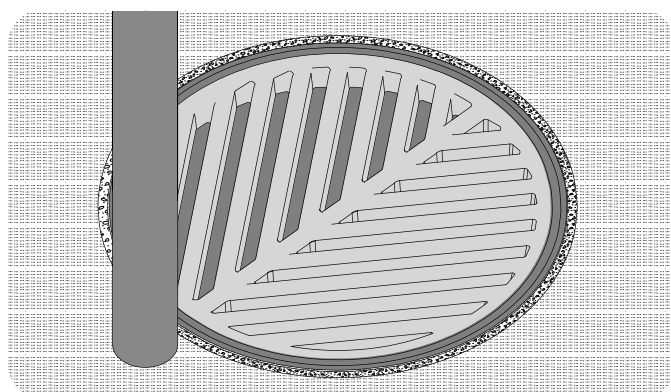
- ⑥袋入れされたグレーチングで水受け部を養生しながら水受け部とコンクリートの隙間を化粧砂利または砂で埋め戻し突き固めます。



- ⑦グレーチングを袋から出して載せたら完成です。
※グレーチングの丸みがある面を上面にして下さい。



グレーチング断面



完成イメージ

お手入れ方法

同梱されているPフックでグレーチングを外し、中性洗剤を使用して、やわらかい布やスポンジで洗って下さい。

⊘ 酸性表示の洗剤、シンナー・ベンジン・アルコール類、漂白剤、クレンザー・みがき粉、殺虫剤等の薬品、ナイロンたわし・金属たわし・サンドペーパー等は使わないで下さい

① 石けん・シャンプー・リンスは洗い流して下さい

② 毛染め剤・カラーリンス等はすぐに洗い流して下さい

